

第 1 回愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会 会議録（概要）

会 議 名	第 1 回愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会
開 催 日 時	令和 8 年 5 月 2 1 日（木） 午後 2 時から午後 3 時まで
開 催 場 所	愛西市役所 北館 2 階 会議室 2－1、2－2
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	別紙のとおり
協 議 事 項 等	1 あいさつ 2 協議事項 （1）第 3 次愛西市健康日本 2 1 計画のアクションプランについて 3 グループワーク 4 その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	次第 名簿 愛西市健康日本 2 1 計画推進委員会設置要綱 愛西市審議会等の会議公開に関する要綱 資料 1 第 3 次愛西市健康日本 2 1 計画アクションプラン（関係機関・市民版） 資料 2 第 3 次愛西市健康日本 2 1 計画アクションプラン（関係課版） 資料 3 グループワーク 参考資料 体重測定 1 0 0 日チャレンジ！めざせ 1 万人
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市健康日本21計画推進委員会委員

役 職	所 属 等	氏 名	備 考
委 員	愛西市歯科医師	前 川 明 之	
〃	愛西市社会福祉協議会	竹 村 ゆき子	
〃	全国健康保険協会愛知支部	北 村 亜 希	
〃	愛西市保育協会	堀 田 真 吾	欠席
〃	津島保健所総務企画課	平 澤 秋 子	
〃	愛西市健康づくり食生活改善推進協議会	土 方 美津恵	
〃	愛西市健康づくり運動推進協議会	野 島 聡 美	
〃	あいさいスポーツクラブ	森 本 寛 幸	欠席
〃	愛西市商工会	加 賀 隆	
〃	愛西市観光協会	水 谷 健 太	
〃	愛西市内小学校養護教諭	伊 藤 真由美	欠席
〃	愛西市内中学校養護教諭	堀 田 恵理子	
〃	市民代表	小 林 由利江	
〃	市民代表	中 野 秀 昭	

事務局

所 属 等	氏 名	備考
【健康日本21計画、自殺対策計画】		
健康子ども部長兼こども家庭センター長	猪 飼 政 和	欠席
保険福祉部参事	青 井 優	欠席
健康子ども部健康推進課長	村 瀬 さやか	
健康子ども部健康推進課長補佐	藤 澤 花 鈴	
健康子ども部健康推進課長補佐	藤 松 志 乃	
健康子ども部健康推進課主査	奥 田 拓	
健康子ども部健康推進課主任	牛 田 雄 貴	欠席
健康子ども部健康推進課主任	麻 西 志 保	
健康子ども部健康推進課主任	大 川 育 美	欠席
健康子ども部健康推進課主任	浅 井 彩 乃	
健康子ども部健康推進課主事	瀧 上 萌 愛	
【食育推進計画】		
産業建設部長	藤 澤 寿 章	欠席
産業建設部産業振興課長	平 野 宗 克	欠席
産業建設部産業振興課主事	山 口 遼	
産業建設部産業振興課主事	島 田 夏 希	

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
委員長	1 あいさつ ＜委員長よりあいさつ＞
委員長	2 協議事項 協議事項（１）「第３次愛西市健康日本２１計画のアクションプランについて」事務局より説明をお願いします。
事務局	協議事項（１）「第３次愛西市健康日本２１計画のアクションプランについて」事務局より資料１、資料２に基づき説明 ＜質問及び意見なし＞
委員長	3 グループワーク 協議事項３「グループワークについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	グループワークについて、事務局より資料３、参考資料に基づき説明 ＜グループワーク実施＞
事務局	1 グループでは、「ウォーキングイベントの開催」における「参加したくなるイベント」と「それぞれの立場からできること」についてグループワークを行いました。 イベントには、健康意識が高い人だけでなく、低い人を巻き込んでいく工夫が重要になります。工夫としては、プレゼント企画や無料配布が一番有効ですが、配布するだけでなく、体験・参加型を組み合わせる仕掛けが動機付けを生み、継続参加につながるのではないかという意見がでました。例えば、コース内に謎解きやクイズを設置し、スタンプラリー形式で回り、「スタンプを全箇所集めたらもらえる」といった達成条件を設けたプレゼント企画をすることで、イベント中のワクワク感や参加意義を高めることができます。また、「愛西市らしさ」の演出として、農業が盛んな本市の特性を活かし、旬の農産物の試食や、地域の特産品を景品とすることで、運動と「食」を通じた健康を両立することができる意見も挙がりました。 「それぞれの立場からできること」としては、イベント当日の協力以外にも、老若男女問わず多角的な方への周知方法について検討しました。 周知にはSNSだけでなく、その他小中学校や保育園の連絡アプリの活用をしていくこと、また、愛西市の「健康」に特化した専用 SNS アカウントを開設し、イベントの周知をしていくことが意見として挙がりました。さらに健康専用の SNS でイベントだけでなく、日常的な健康情報の発信と、イベント当日のアカウント登録を促すキャンペーンを行うことで、一時的なイベント参加を継続的な健康意識へつなげることができます。そのためにも、イベント後も健康情報を発信することで、継続的な情報提供を行い、運動習慣の定着を図っていくことが必要

事務局	であることをグループ内で共有しました。 また、近隣の市町村で開催されているウォーキング・マラソン大会の周知方法を確認し、より効果的な周知のヒントを得るべきとの意見がありました。 2 グループでは、「あいち健康プラスを活用した体重測定チャレンジの実施」についてグループワークを行いました。 体重を測るきっかけとして、「服のサイズが気になった」「健診結果や医師の助言を受けて、自分の体調管理を意識し始めた」といった経験談から、「体の変化」を感じた時に測定を意識することは、問題意識のない方に対するきっかけづくりには難しさがあると感じました。また、体重測定の習慣化が適正体重への意識につながり、健康維持につながっていくことの情報提供を的確に伝えていくことが必要であるとともに、難しさも共有しました。 情報提供の方法として、他市の成功事例を参考に、愛西市でも市職員が試験的に実施し、その結果を住民の方へ還元していく方法についても意見交換を行いました。試験的に実施するのであれば、数値的な変化のデータを取得できるような工夫が必要で、例えば、事業の対象を、健康改善に関心がある方や、改善が必要な方を対象とし、成功事例を具体的に収集・検証していくことが重要であると考えました。 他の視点としては、近年子どもの肥満だけでなくやせの問題もみられることから、幼少期から親子に向けて適正体重の意識づけを伝え、体重測定を習慣化する環境をつくることも必要ではないかという意見も挙がりました。 また、継続できる環境づくりについては、生活動線上に体重計を配置することは効果的であることを共有しました。また、アプリ・スマートウォッチ等を活用した見える化によるモチベーション維持、また応援メッセージや通知機能による継続支援が効果的であると意見が挙がりました。 今回のグループワークを通じて、体重測定は健康管理の「入り口」であるため、体重測定を習慣化し、適正体重を理解した上で、個人にあった生活習慣改善のための具体的なアドバイスや情報提供を行うことこそが、健康管理につながるという意見でまとまりました。
委員長	「何のためにやるのか」ということを考えたときに、「健康維持のため」ということは両グループ共通していることでした。ウォーキングイベントでの体重測定して、今の身体を知ることで意識づけすることもぜひ検討してほしいです。また、きっかけづくりはもちろん大切なことではありますが、何を目的としてやるかを考えた結果が「体重測定」であったり、「運動」であったりするのではないかと感じました。
事務局	4 その他 次回開催時期については、令和9年2月頃を予定しています。 閉会